

高齢者の自動車運転対策は。

町 免許証返納環境づくりを促進。

問 高齢者の判断ミスによる交通事故が増えているが、高齢者の自動車運転に対し安全対策は。

総務課長 交通事故防止を掲げ、高齢者の行動特性を考慮した※3S運動を推進している。

今後は警察等と協力し地域ぐるみで見守る事が必要

である。

問 加齢に伴う身体機能や判断能力の低下のため、運転に不安を感じている人が増えている。

高齢者が、運転をせずに済む運転免許証返納に対する考えは。

町長 高齢者事故を未然に防ぐためには、車ではなく

公共交通機関に変える事が有効である。

しかし、町は公共交通機関が発達していない。県内において、高齢者が自発的に免許証を返納する環境づくりを促進し、事故を減少する取り組みが見られる。そのため今後先行事例を参考に対策を検討したい。

※3S運動…see(シー、見る・発見する)
slow(スロウ、減速する)
stop(ストップ、止まる)の頭文字です。

公共施設の安全対策は。

町 飛散防止対策を調査研究し検討。

問 各学校の強化ガラス設置状況は。

学校教育課長 学校の安全対策は、耐震診断の結果に基づき計画的に耐震化を進めている。

今年度実施の伊王野小学校体育館の耐震工事、大島小学校体育館の改修工事が完了により、耐震化率が100%になる。

強化ガラス設置状況は、工事中の大島小学校校舎・体育館に設置を行っている。しかし、他の学校はほとんど新築または増改築を伴わない内容であり、強化ガラス等の設置対応になって

いない。

問 台風や竜巻等の被害から児童生徒を守るために、飛散防止フィルムを活用する考えは。

学校教育課長 異常気象による被害が県内を始め全国的に多く発生していることから、学校における窓ガラスの安全対策が必要である。

今後、耐震工事や改修工事が完了後、学校施設にお

ける窓ガラスの飛散防止対策を調査研究し検討していく。



災害時一枚のフィルムが身を守る



もう一度安全確認を忘れずに(高齢者運転)